

# 吹田市 農委だより

第77号

令和7年(2025年)

1月1日発行

編集・発行

吹田市農業委員会

吹田市泉町1丁目3番40号



写真は泉殿宮の絵馬  
いづどのぐう

## 年頭の御挨拶

吹田市農業委員会  
会長 吉田 俊之



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、農業委員会の運営にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年一月一日に発生しました令和六年能登半島地震により、多くの方が被災されましたこと心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年の夏は「最も暑い夏」と言われた一昨年に匹敵する暑さとなりました。今後も異常な暑さが続くのではないかと危惧しております。農業環境において、このような状況は農産物の収穫量への深刻な被害や、農業従事者の健康被害など、様々な影響をもたらします。永続的に農業を続けるためにどうすべきか、改めて考えなければならぬ時代になっているのではないかと感じております。

また、「食料・農業・農村基本法」が二十五年ぶりに改正され、昨年五月に成立しました。今後、食料安全保障の強化等に向けて農業の構造転換を図るための施策を実施されることに期待しております。

農業委員会としても、農業者の代表として、充実した農業振興施策を実施するよう働きかけてまいりますので、農業委員会への皆様方の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。あわせて皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春の御挨拶

吹田市長  
後藤 圭二



明けましておめでとうございます。農業委員会の委員及び関係者の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、平素より本市の農業施策の推進に多大なご貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、改めていつ起こるか分からない自然災害の恐ろしさを感じました。本市は、発災直後から輪島市へ災害マネジメントの専門職員を派遣するなど、継続して被災地の復旧対応を支援しています。本市におきましては、昨年、南千里に「吹田市総合防災センター(DRC Suita)」を開設するなど、災害への備えを強化しており、今後も、安心安全なまちづくりを進めてまいります。

さて、昨年はいわゆる「令和の米騒動」により、全国的に米不足となりました。国民全体が米のありがたみを痛感するとともに、農業の重要性を再認識するきっかけになったことと存じます。しかし、農業者の高齢化や担い手不足など、様々な課題があり、農業を取り巻く環境は決してたやすいものではありません。

本市におきましては、地産地消の推進や市民農園、景観形成作物の栽培奨励など、農業者の方々をお支える様々な取組を行っております。今後も、様々な農業施策により農地の保全など、農業の振興に努めてまいりますので、引き続き、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。

新年を迎えて

吹田市議会議長  
泉井 智弘



明けましておめでとうございます。農業委員会を始め、市内農業関係者の皆様方におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から本市農業施策の推進に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農業従事者の減少や猛暑日の増加など近年の農業を取り巻く環境は厳しく、農業従事者の皆様は大変御苦労されていることと思えます。こうした社会情勢において、貴委員会におかれましては、子供たちが農業を体験することができる学童農園や、農地パトロールによる農地の適正な維持・管理、市内農業者が一堂に会する農業者研修会の開催等、市民参加型の農業施策の推進や消費地近郊の特性を活かした都市型農業の環境整備に取り組まれ、農業に対する市民の皆様への理解促進や本市の農業の発展に大きく貢献されており、心から敬意を表する次第です。農業を取り巻く環境が厳しい時代だからこそ、貴委員会の役割はますます重要になり、農業関係者からの期待も大きなものになると考えます。今後とも、本市の農業が抱える諸課題の解決に向け、御尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴委員会の今後ますますの御発展と、皆様方の一層の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年もよろしくお祝い申し上げます

吹田市農業委員会

事務局長	東田康司	水田和真	前田義昭	辻本忠正	島中秀樹	川上光男	下井繁	西川聡志	西川盛	奥祐次	榎原靖彦	榎本喜志郎	山本元治	副委員長	橋本家平	農政専門委員	田口末次	農政専門委員	角田和子	副会長	長吉俊之
------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	-----	------	-------	------	------	------	--------	------	--------	------	-----	------

職員一同

(議席順)

# 大阪府農業委員会大会

農業会議設立70周年記念大阪府農業委員会大会が10月17日、大阪国際交流センターで開催されました。この大会は大阪府農業会議が毎年開催しているもので、府内の農業委員会委員等約700人、一般消費者約100人が参加し、本市農業委員会からも多数の委員が参加しました。



田口委員

角田委員

奥委員

第1部では、農業会議設立70周年記念に係る農業委員会委員等表彰、永年在任者表彰、なにわ農業賞表彰が行われ、本市からは永年在任者(10年)として、奥祐次委員、角田和子委員、田口末次委員が受賞されました。

また、議事では食料・農業・農村基本計画策定等に関する要請決議などの議案が議決されました。

第2部では、東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏による「いのちはぐくむ農と食―農業委員会への期待―」と題した講演が行われました。

# 農業委員現地研修会を開催

令和6年11月11日、農業委員現地研修会を開催し、委員16人が参加しました。農業委員研修会は毎年開催していますが、現地研修会は10年ぶりとなります。

午前は枚方市にある「農園 杉・五兵衛」を訪れ、甲子園球場の2倍ほどあるという広大な園内を園主の説明を聞きながら見学しました。ここでは、有機循環農法(収穫した野菜のヘタなどをロバのエサとし、ロバの糞を堆肥化したものを使用して野菜を栽培)で様々な野菜や果物、山菜、花などを栽培されていました。

午後からは交野市にある「野村ファーム」を訪れました。工務店から農業展開し、約9,000㎡の農地で農業や化学肥料は使わず、原木椎茸、パクチーを中心に栽培されていました。

いずれの農園においても、園主の説明に委員は真剣に聞き入り、委員から質問する等、有意義な研修会となりました。



研修会の様子  
上:農園 杉・五兵衛  
下:野村ファーム

# 農作物品評会の開催結果

令和6年11月12日、吹田市・吹田市農業委員会・北大阪農業協同組合主催の農作物品評会が、子育て青少年拠点夢つながり未来館で開催されました。

対象作物は玄米で、審査の結果、市長賞、農業委員会会長賞などの受賞者が決定しました。今回は25点の出品がありました。

## 品評会入賞者



### 市長賞

江坂町 白井 善吾さん

### 農業委員会 会長賞

江坂町 中尾 康則さん

### 北大阪農業協同組合 組合長賞

山田東 辻本 清信さん

### 優秀賞(出品番号順)

山田東 田口 末次さん

春日 山本 元治さん

岸部中 橋本 家平さん

垂水町 村田 幸夫さん

江坂町 楠本 直樹さん

### 市民賞

江坂町 白井 善吾さん

## 全国農業新聞

### 購読してみませんか

最新の農業情勢について分かりやすく解説し、農業者の経営と暮らしに役立つ情報をお届けします。

お申し込みは、お近くの農業委員又は農業委員会事務局へ

◆ 購読料 月額 700円

◆ 発行日 毎週金曜日

## 農業者年金に加入しませんか

### 加入資格

年間60日以上農業に従事  
国民年金第一号被保険者

20歳以上65歳未満  
(保険料納付免除者を除く)  
(60歳以上は国民年金の任意加入者)

お問い合わせ先  
JA北大阪本店経済係北事務所  
TEL 6877-0261

吹田市 農業委員会事務局  
TEL 6384-2792



## なくそう、無断転用

農地を農地以外の用途に変更する場合には、農地法第4条または第5条の規定による届出が必要です。

農地転用届出をしないで無断転用した場合は、農地法に違反することになります。

## 収入保険または農業共済へ加入しましょう!

### 収入保険

対象 青色申告を行っている方  
原則全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

### 農業共済

対象 全農業者  
米、麦、畑作物、果樹、家畜、農業用ハウスなどが自然災害によって受ける損失を補償します。

大阪府農業共済組合 北部支所  
住所 茨木市西駅前町10番20号  
TEL 072-631-7737

〈お問い合わせ先〉



## 2025年農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、令和7年2月1日現在で、「2025年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

令和6年12月中旬から調査員が農林業関係者の方々を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。



農林業センサス  
マスコットキャラクター  
「つつちー」

